

消費から“変環”へ

～無理なく楽しく、資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国に～

東海国立大学機構名古屋大学は、文部科学省・JSTの令和4年度「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の共創分野に採択され「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」をスタート致しました。本拠点では、“変環(変換×循環)”をキーワードに、これまでの「作る⇒捨てる」という概念を変革し、これまで捨てていた/使ってなかったものを活用して、市民自らが資源・エネルギー生産に参加する、資源・エネルギー自立型共創社会を目指して研究開発を推進します。

今回のシンポジウムでは、本拠点が目指す“変環”社会像や“変環”を社会に普及していくために今後の拠点活動に必要なことについて議論を行います。

2023.3.30(木) 13:00 - 16:00
[12:30 受付開始]

参加無料

定員

ホール会場 — 70名
オンライン — 1000名

会場

リアル会場：東海国立大学機構 名古屋大学
東山キャンパス ES総合館ESホール
オンライン会場：参加申込まれた方に、
後日配信URLをご案内します。

※いずれも先着順

プログラム

場所：名古屋大学 東山キャンパス ES総合館ESホール
オンライン配信

- 13:00 開会・主催者挨拶 ※敬称略
開会挨拶 — 杉山 直(東海国立大学機構名古屋大学 総長)
主催者挨拶 — 佐宗 章弘(東海国立大学機構名古屋大学 副総長)
- 13:10 来賓挨拶
— 梅原 弘史(文部科学省 産業連携・地域振興課 拠点形成・地域振興室 室長)
久世 和資(JST共創の場形成支援プログラム 共創分野プログラムオフィサー)



主催・後援

- 主催
名古屋大学COI-NEXT
セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点
- 後援
東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構

13:20 拠点紹介

ビジョン・ターゲット・研究開発・取り組み内容紹介

— 松田 亮太郎(プロジェクトリーダー/東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科 教授)

参画機関からの取組み紹介

株式会社大阪ソーダ SyncMOF株式会社
東邦ガス株式会社 名古屋市

15:00 パネルディスカッション

「“変環”を社会に普及させるために拠点がやるべきこと」

〈モデレーター〉

松田 亮太郎(プロジェクトリーダー/東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科 教授)
森内 倫子(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 研究員)

〈パネリスト〉

白州 達也(株式会社電通事業共創局 部長)
広瀬 毅(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教)
内記 香子(海国立大学機構名古屋大学未来社会創造機構 Future Society Studio/環境学研究科 教授)
宇治原 徹(研究課題5グループリーダー/東海国立大学機構名古屋大学未来材料・システム研究所 教授)

- 15:55 閉会挨拶
— 松尾 清一(東海国立大学機構 機構長)



お申し込みはこちら

申込締切 ▶ 令和5年3月28日(火)

<https://forms.office.com/r/cUVyru4tKv>

問合せ先

名古屋大学COI-NEXTセキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点事務局

Email ▶ info-henkan@mirai.nagoya-u.ac.jp